



平成26年6月4日

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所

## 清水港物流効率化の整備効果実証！ ～新興津ふ頭第2号岸壁整備後1年の効果を検証～

### 1. 概要

清水港新興津ふ頭で第2号岸壁が供用して1年が経過し、利用企業へのヒアリング等により整備効果を分析したところ、利用船舶の渋滞解消、埠頭内コンテナ荷役効率向上などで、整備前と比べ年間約4千万円のコスト削減、コンテナ積み替え実績が1.2倍となるなどの整備効果が確認されました。

### 2. 清水港新興津ふ頭第2号岸壁供用後1年の整備効果

#### 1. 利用船舶の渋滞緩和で年間約4千万円のコスト削減

昨年5月に2号岸壁が完成し延長700mの岸壁となったことで、大型コンテナ船の2隻同時利用が可能となり、供用前に発生していた1回程度／週のコンテナ船の利用待ちがゼロになり、年間約4千万円のコスト削減となります。

#### 2. 清水港全体のコンテナ取扱能力が約36%向上

2号岸壁の供用により港内のコンテナ取扱いふ頭の混雑緩和など利用状況が効率化した結果、コンテナ取扱能力が全体で約36%向上しました。

#### 3. 清水港におけるコンテナ積み替え実績が1.2倍に増加

2隻同時利用が可能になったことで、これまでシンガポール港などで行われていた北米・欧州航路の大型コンテナ船からアジア近海航路や国内航路の中・小型コンテナ船への積み替え輸送を清水港の同じふ頭内で行う事が可能になったため、清水港でのコンテナ積み替え貨物量実績が整備前の約1.2倍に増加しました。

3. 配付資料

別添「清水港新興津コンテナターミナル2号岸壁供用後1年の整備効果」

4. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、  
港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先： 国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課長 <sup>のむら</sup>野村  
電話：054-352-4148 FAX：054-353-3072

6. 参考

(1) 事業の概要

事業	施設	数量	進捗状況
国整備	岸壁(耐震)	水深15m、延長350m	H25.5 供用済み
	泊地	水深15m、面積11.4ha	H25.5 供用済み
	防波堤	延長310m	H27 年度完了予定
県整備	コンテナヤード(CY)	面積13.0ha	整備中 (H26.4 3レーン分供用済み)
	臨港道路	延長300m	整備中
	荷役機械(免震)	3基	H25.5 2基供用済み

(2) 事業の効果

- 新興津コンテナターミナルに大型船2隻が同時着岸することが可能となり、効率的な荷役を実現することで、産業立地環境の改善を通じて国際競争力強化を図り、静岡県・日本経済の発展に寄与します。

